



岩松小学校だより



学校だより 第6号

令和8年5月8日発行

発行者 校長 真子靖弘

温かい声も、厳しい声も。～共に歩む1年に向けて～

4/26(日)、授業参観等へのご参加ありがとうございました。雨天にもかかわらず延べ117名にご参加いただきました。学校経営は教職員・保護者・地域の三者が協力し、共に創り上げるもの(共育)です。いただいた声は教職員だけでなく、皆様と共にこれからの学校を考える一助として共有させていただきます。以下、掲載可とされたお声の一部をご紹介します。

■授業参観について

- ・ゆっくりとした口調で全体を見ながら授業されていて良かったと思います。
- ・国語の授業をしていて、私達も『あ～、この字もあったな』と、私達も勉強になりました!笑
- ・普段の先生の生徒に対する対応。その先生に対する子供の対応。どちらも普段と違う緊張はあるかもしれませんが、垣間見る事が出来て良かったです。
- ・子供達が集中して親子で取り組める内容でとてもよかったです。
- ・頑張っている姿が見られてよかったです。
- ・みんなしっかり自分で考えたものを文章や絵にまとめていてすごいと思いました。



■学級懇談会について

- ・担任の先生の授業方針が聞けて良かったです。
- ・学校の方針をもとに説明があり納得できた。
- ・少人数でしたが、皆さんと話が出来て良かったです。また、担任の先生が大切にしていきたいと思っている事を知れて安心しました。
- ・担任の考えがしっかりしていて安心した。先生と共に子供たちを支えて成長できる1年にしたい。



■総会における学校経営説明について

- ・説明がわかりやすく子どもたちのことを一番に考えてあって安心して学校生活が送れそうです。
- ・子供の主体性を尊重してくれる、とても良い先生に出会えた事に感謝です。目的を伝えずルールばかりを押し付ける先生も多い中、こんな先生が増えてくれたら良いと思うお話でした。



- ・校長先生の熱意を感じました。
- ・自律・尊重・挑戦を大切にされた学びある学校は、すごくいいことだと思います
- ・算数の縦割りについて良いと思う反面、どうなのかなと思う反面(上級生が馬鹿にされないか)がありました。
- ・理想的な教育だと思うが、子供たちがついていけているのが不安。
- ・横文字が多くて所々意味がわかりませんでした。張り切っておられるのはわかりますが、来年はもう少し短く分かりやすくお願いします!

※不自然な言い回しや、くだけすぎた表現は整えております。

「見立て」の心で、創造的な「挑戦」を!

5/1(金)、全校集会において「『見立て』とは何か?」というテーマで校長講話を行いました。最初に龍安寺の枯山水の写真から、日本人が600年も前から庭の石や砂を島や海に見立ててきた伝統を紹介しました。続いて、前号の学校だよりにも掲載した田中達也さんの作品をクイズ形式で提示し、「見立て」について考えました。



本校は学校教育目標に「挑戦」を掲げています。挑戦とは、想像と創造の連続性とも言えます。今回の講話をきっかけに、子どもたちが豊かな発想を持ち、どんどん創造的に挑戦してくれることを期待しています。

ある朝の出来事～優しさが連鎖する朝～

ある朝の出来事です。入学して間もない1年生にはよくあることですが、校門付近で家に帰りたいと泣いている子がいました。そのことを登校してきた6年生が私に教えてくれました。その後、担任の藤瀬先生が迎えに行き、児童玄関まで一緒に来ましたが、帰りたい様子は変わりません。すると今度は、別の6年生が優しく話しかけ、気持ちを和らげようとしていました。その優しさに朝から明るい気持ちになりました。結局、無事に1日、楽しく学校生活を送り、下校しています。

